

「親子で見学会」に協力しました。



船上からの風景



船で萬代橋の下を通過する様子

10月4日(土)に「親子で現場見学会」が開催されました。

今年で2回目となるこのイベントは、建設コンサルタンツ協会が萬代橋や山の下閘門排水機場の見学を通じ、建設業への理解を深めて欲しいという思いから企画したものです。

参加者のみなさんは、通船川から船に乗って萬代橋まで行き、職員の説明を聞きながら、普段見ることが出来ない橋の裏側や水面近くからの風景を興味深く見ていました。

参加者のみなさんからは「萬代橋の説明で初めて聞くこともあった。」や「大変丁寧な説明でよく分かった。」といった感想が寄せられました。

新潟国道事務所では総合学習や体験学習のお手伝いをしております。お気軽にお問い合わせ下さい。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/140918oyakodekenngakukai.pdf>

黒崎中学校の生徒が国道について学びました！



情報管理室を見学している様子

10月15日(水)、黒崎中学校1年生5名が総合学習の一環として国道について学びました。生徒達は新潟国道事務所の仕事や国道の管理などについて説明を受けた後、情報管理室を見学し、道路に設置されたカメラを実際に操作しました。

その後、新潟除雪ステーションに移動して、除雪車について実物を見ながら説明を受けました。除雪グレーダーや薬剤散布車を興味深く見ていました。

見学後、生徒達からは「楽しかった。」「これからの学習に生かしたい。」などの感想をいただきました。

新潟国道事務所ではこれからも学校の総合学習などを支援していきますのでお気軽にお問い合わせください。



除雪車を見学している様子

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/141010kurosakigakusyuu.pdf>

過積載から道路を守るため国道と高速道路の2箇所同時に「違法トラックの取締り」を実施しました



国道での取締りの様子



高速道路での取締りの様子

10月17日（金）14時～16時に国道49号津川除雪ステーション及び磐越自動車道津川インターチェンジにおいて、過積載・特殊車両の現地取締りをN EXCO東日本、新潟県警察本部交通部高速道路交通警察隊新潟分駐隊、津川警察署とともに実施しました。

過積載とはトラックなどの車両に定められた重量の限度を超えて荷物を運搬することを言います。過積載の車両が通行することは、路面のわだち掘れや、橋梁など道路構造物が損傷する原因となります。さらに、過積載をすることで車両が止まりにくくなり重大事故につながる危険性があります。

国道と高速道路で同時に実施することにより、取締りの効果が上がることを目的として今年度初めて共同で実施しました。

当日は車両の寸法・重量の計測、特殊車両の通行許可証の確認を行い、取締りの結果は下記のとおりとなりました。

【取締結果】

○国道49号 津川除雪ステーション

取締り実施台数：22台 内、違反指導を行った車両：5台

○磐越自動車道 津川インターチェンジ

取締り実施台数：3台 内、違反指導を行った車両：1台

国土交通省では、特殊車両に対し、繰り返し違反を行った者の名称や違反内容等を公表することとし、特殊車両の通行に対する指導、取締りの徹底を図っています。

今後も引き続き現地取締りを行うことで、道路構造物の保全、重大事故の防止に努めます。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/141020kasekisaitorisimari.pdf>

産官学ドボジョ※交流会に参加しました！

10月21日（火）、長岡技術科学大学の女子学生、福田組の女性技術者、新国女性職員の産官学3者で、福田組の女性技術者である数間（かずま）さんが活躍する長岡市の柿川放水路排水樋門新設工事の現場を見学し、若手土木女性に関する意見交換を行いました。

現場で紅一点の数間さんがテキパキ作業する姿に、学生3名とともに新国職員2名も感嘆の声を上げていました。

意見交換会では、来春に就職活動を控えた学生3名に、建設土木業界で働くことの魅力や女性として思うことについて伝え、各々の立場からの想いを語り合いました。自分の専門への熱意がある女性って素敵ですね。

建設土木業界の女性というと男勝りなイメージが先行しますが、実際は華やかです。女性の活躍が増えるとともに建設土木業界のイメージも変わってくるのではないのでしょうか。

建設土木業界の女性のみなさん！頑張って建設土木業界を盛り上げていきましょう！



交流会に参加したドボジョのみなさん

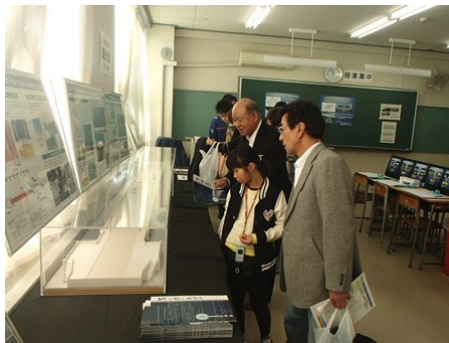
この交流会の様子は11月4日（火）18：15頃UXで放送される予定です。

※「ドボジョ」とは、建築土木業界で働く女性技術者のこと。最近では、「けんせつ小町」とも呼ばれる。

「新潟工業高校の学園祭」に出展してきました



展示の様子①



展示の様子②

10月25日（土）、新潟工業高校の学園祭をお手伝いしてきました。学園祭への出展は、北陸地方整備局と建設コンサルタンツ協会が、一般の方へ建設土木業界を広報するとともに、生徒達に将来建設土木業へ携わって欲しいという思いから今年初めて企画したものです。

新潟国道事務所は、土木科2年生の教室で萬代橋模型と道路老朽化対策パネルを展示し、生徒達は橋のペーパークラフト作成を出品しました。

その他にも、建設コンサルタンツ協会によるラジコンヘリコプターによる空中写真のデモンストレーション、北陸技術事務所による時間雨量180mmの降雨体験など多くの方々に楽しんで頂きました。

新潟国道事務所ではこれからも学校の総合学習などを支援していきますのでお気軽にお問い合わせください。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2014/10/141022agano.pdf>

猿橋中学校の生徒が国道について学びました！



仕事などについて説明を受けている様子

10月29日（水）、新発田市立猿橋中学校1年生6名が総合学習の一環として職場訪問に来ました。生徒達は新潟国道事務所の仕事や国道の管理などについて説明を受け、仕事への心構えや仕事をする上で大切な事などを学びました。

その後、情報管理室で、新潟国道事務所管内に設置された道路監視カメラの映像を見ながら道路管理について学習しました。

見学後、生徒達からは「国道事務所の仕事は大変だと思った。」「情報管理室のマルチモニターがすごかった。」などの感想をいただきました。

新潟国道事務所ではこれからも学校の総合学習などを支援していきますのでお気軽にお問い合わせください。



情報管理室を見学している様子

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/141024saruhasisougou.pdf>

今年の除雪体制に入りました。～地元小学生が除雪出動式で激励～

10月31日（金）に新潟西除雪ステーションにおいて、平成26年度除雪出動式を行いました。

出動式には、新潟市立木山小学校4年生10名にも参加してもらいました。除雪作業に携わる作業員のみなさんに、生徒達の代表が「皆様が夜遅くや朝早くから除雪作業をしてくださるおかげで安全な道を安心して学校へ登下校することが出来ます。今年の冬も安全に気を付けて除雪作業をよろしくお願いします。」と応援メッセージを伝えました。その後、事務所長と生徒全員から作業員の代表へゴールドキーが手渡されました。

次に、除雪作業員の代表から、今冬の除雪作業に携わる決意について、「道路利用者の要望に応えられるよう万全の体制を確保し、10名の児童の皆様からいただいた応援メッセージを励みに、事故無く春を迎えられるよう万全を期し推進します。」と力強い表明がなされ、出動式は無事終了しました。

出動式の後、生徒達は除雪機械への試乗や除雪基地の見学など体験学習を通して「雪国新潟の除雪」について学びました。生徒達は普段近くで見ることの出来ない除雪車などの説明を興味深そうに聞き、メモを取っていました。

新潟国道事務所は今年の冬も安全な交通確保に向けて努めて参ります。

なお、新潟国道事務所ではこれからも学校の総合学習などを支援していきますのでお気軽にお問い合わせください。



生徒達によるゴールドキー贈呈



間近で除雪車を見学



凍結を防止する薬剤（塩）に触れてみました

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/141027jyosetusyutudousiki.pdf>

編集・発行・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159（代表） 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL：niikoku@hrr.mlit.go.jp みちナビ新潟：<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>



にいこく 検索

